

地域公共交通網形成計画策定に係る 基礎データについて③

・今後の追加調査の概要について

平成28年8月10日（水）

1. アンケート調査

今後の追加調査の概要について

1. アンケート調査

■アンケート調査の考え方

- ・平成24年度は、市内全域を対象としたアンケート調査を実施しており、本市における公共交通の利用実態や路線バスの維持に対する市民意識等について調査を実施し、江別市における公共交通の改善の方向性を整理した。
- ・江別市における公共交通の改善の方向性を受け、平成26年度には、野幌地区における利便性向上に向けて、翌年度の実証運行路線「野幌見晴台線」の運行につながるニーズの把握を行った。
- ・さらに、平成27年度は、野幌見晴台線の実証運行後、江別錦町線及び江別4番通線の沿線地域を対象にアンケート調査を実施し、路線バスへの要望や利用するための条件等の把握を行った。
- ・本調査では、ニーズ調査を実施した平成26年度及び平成27年度調査実施エリアを除く、既存のバスサービスが確保されている市街地を中心に、バス路線の再編に向けたニーズの把握を実施したいと考えている。
- ・現状、路線バスが運行していない江北地区や豊幌地区等においては、JRやスクールバス等を運行を踏まえ、地域の足の確保を検討する必要があると考えられるが、別途、調査を実施する予定。

▼実施するアンケート調査の概要(案)

調査規模：市内1,500世帯 ※平成26年度及び平成27年度調査実施エリアを除く

調査方法：郵送配布 ※住民基本台帳による抽出を想定。

郵送回収 ※料金受取人払郵便を想定、回収率30%を目標とする。

調査時期：8月～9月 ※とりまとめ含む

調査項目：目的・手段別の移動実態（OD）

- 目的（目的地）

- 移動手段

- 移動頻度

市内の行きたい場所

- 路線バスが便利になったら行きたい場所

路線バスが便利になった場合の利用意向

- 望ましい路線

- 利用意向

- 利用頻度

属性

- 居住地/性別/年齢/職業・就業の状況 等

2. 路線バス利用実態調査

今後の追加調査の概要について

2. 路線バス利用実態調査

■路線バス利用実態調査の考え方

- ・本計画の策定に際し、路線バスの利用実態を把握するため、市内を運行する路線バスの利用実態調査を行う。
- ・調査は、路線バス事業者様が保有する資料（ICカードデータ等）を活用し、分析を行うことを想定する。
- ・ICカードが未対応となっている夕鉄バス様においては、調査員による目視調査を想定する。

▼実施する利用実態調査の概要(案)

調査対象：江別市内を運行する路線バス（市外線含む）

調査方法：ICカードデータ等の活用及び調査員による調査 ※要ご相談

調査時期：10月頃を想定

調査項目：利用者数の把握

- 路線/系統別
- 便別
- 停留所別
- 利用区間（OD） 等